

# 平成 30 年度日山協山岳共済会事業報告

## 1. 総括

平成 30 年度の山岳共済会加入者は、54,918 人（前年対比 686 人減）で、ついに 55,000 人を切った。

特に今年度は、4 月 1 日始期の加入者が 41,350 人で、前年比減（-63 人）となった。一方、団体加入者減の事由として、山岳会の解散や山岳会事務局が個人加入への切り替えを勧める傾向がある。その結果、加入手続き忘れに繋がって、継続加入者減になっている。

Web 加入者は、1,570 人（前年対比 18 人増）で、全体の上乗せにはなっていない。口座振替は前年より微増。

トラン保険の加入者は、367 人でチラシの効果は、未だ表れていない。

総保険料収入に対する総保険金支払い割合の損害率は、34.70%と前年比で 1.21 ポイント下がった。（2017 年度実績の修正保険金合計は 330,303,018 円で、修正保険料合計は 951,992,230 円、損害率 34.7%）

平成 31 年度は、団体割引率 30%、大口契約割引率 10%、優良割引率 15%で  $1 \times (1 - 30\%) \times (1 - 10\%) \times (1 - 15\%) = 53.55\%$ （▲46.45%引）となる。（※平成 28 年度割引率合計は 52%、29 年度は 50%、30 年度 46%、31 年度 46%）

## 2. 共済会加入者数（3 月 31 日現在）

54,918 人（前年比 686 人減）

（内訳）

<u>個人加入</u>	<u>35,828 人（前年比 218 人減）</u>
	登山：11,494 人（前年比 253 人減）
	ハイキング：24,334 人（前年比 35 人増）
<u>団体加入</u>	<u>18,997 人（前年比 519 人減）</u>
	登山：10,387 人（前年比 64 人減）
	ハイキング：8,610 人（前年比 455 人減）

※共済会のみ加入者 93 人（前年比 51 人増）

共済会費収入：52,037,000 円（前年比 879,500 円減）

郵便振替手数料：3,781,598 円（34,511 件）

口座振替手数料：314,139 円（5,533 件、前年比 547 件増）

クレジット決済手数料：321,517 円（1,570 件、前年比 26 件減）

損害率（平成 27 年 9 月～平成 29 年 8 月）34.70%（前年実績 35.91%）

優良割引率：15%（平成 31 年度適用）

## 3. 共済会事業

ア 共済事業に対する交付

交付申請：29 件

イ 疾病死亡弔慰見舞金の交付

交付申請：4 件

ウ 位置探知器「ヒトココ」のレンタルサービス

貸出：11 件

エ 会員制の検索ヘリサービス「ココヘリ」の特典付与

山岳共済会々員は、入会金無料、年会費 3,650 円のみでココヘリが利用できる

特典を付与した。

- オ アヴァランチ・トランシーバーの貸出し  
マムート社の Barryvox S を 50 台購入  
指導委員会の氷雪技術研修会（富士山、4/28～29、大山2/16～17）、秋田県高体連登山専門部（2/2～3）、冬山出向研究会 in 盛岡（2/6～8）、滋賀県高体連登山専門部（2/8～11）、香川県山岳連盟（3/21～26）、秋田県高体連登山専門部（3/22～24）、神奈川県山岳連盟（3/2～3）、富山県山岳連盟（3/1～8）、山梨県山岳連盟（3/3）に貸出し
- カ 『山岳遭難対策シンポジウム』（山梨県山岳連盟との共催事業）の報告書（A4版、40頁、500部）を作成して各都道府県山岳（・SC）連盟（協会）及び希望者に配布。
- キ 海外登山保険  
平成30年度は、K2、マナスル、ロブジェ、ストック・カンリで4名の死亡事故発生

#### 4. 営業推進事業

- ア 加入促進対策について
  - ①スポーツライミング保険、トレラン保険のチラシを作成して配布。
  - ②HPのリンク  
（一財）日本トレイルランニング協会、北丹沢山岳センターへのリンク。
  - ③トレラン保険  
北丹沢山岳センター関連の7大会及び上州武尊山スカイビュートレイル大会等でチラシを配布。北海道、東京、群馬岳連にも協力依頼した。  
Web 申込と口座振替の加入システムについて三井住友海上火災保険に改良を依頼し、一部修正した。
  - ④『岳人』バナー広告掲出  
引き続きバナー広告を掲出。（『岳人』2018年4月号から2019年3月号）
  - ⑤高体連登山専門部『登山部報』、インターハイ登山大会プログラム、HAT-J 機関誌、毎日新聞旅行のカタログに山岳共済会の広告出稿。カタログ「まいたび」に山岳共済会葉を同封発送
  - ⑥山岳保険の告知として「ヤマテン」、「ヤマレコ」等へバナー掲出（継続）
- イ その他
  - ①山岳共済会の平成31年度用葉の見直し・デザインの検討・制作・発送
  - ②平成31年度「山岳保険」案内の内容検討・制作  
主な修正は、「山岳遭難・捜索保険」→「山岳保険」、年号を西暦表記、トレランプラン、スポーツライミングプランを「コース」とした。凍傷の扱いをQ&Aに記載した。
  - ③郵便振替手数料値上げへの対応について  
平成31年4月1日から70円値上げになることに関して、2019年度は70万円ほど手数料増となるので予算化した。2020年度からは振込手数料を利用者負担とする。
  - ④山岳共済会のマスコットについて  
デザインを決め、商標登録を申請中。